

# 公安委員会定例会議(第7回)の開催状況

第1 日 時 平成31年3月13日(水)

午後1時30分 ～ 午後5時10分

第2 出席者 渡部委員長、増田委員、曾我部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官

生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長

警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

## 1 委員長説示

3月8日は国際女性デーです。新聞には「都道府県庁の女性管理職1割未満」という見出しが大きく出ていました。全国平均が9.7%、愛媛県は6.5%であり、政府の“2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%に”という目標には程遠い状況です。

私も20年前に初めて管理職試験を受けました。当時は管理職になりたいとか、管理職に魅力を感じていたわけではなかったのですが、校長の後押しもあり、管理職になってからは、女性の視点を反映させるという意味でも、女性の管理職は必要であると思うようになりました。もし職場で管理職に就くことを迷っている女性がいるのなら、背中をちょっと押してあげてほしいと思います。

その後、「女性の活躍の場を」という時代の流れから、男性のみの職場に女性である私が配属され苦勞したこともありましたが、この数年間は本当に良い経験をさせていただいたと思っています。

このような経験を踏まえて言えることは、女性管理職登用の推進は、初めは形や数値を考慮していくことも大事ですが、女性だからという理由で、この仕事は駄目と決め付けるのではなく、いろいろな分野の仕事を経験させることが大切だということです。また、女性も目標を持って活躍できる力をつける努力を続けてほしいと思います。

県警も今後、本格的に女性管理職登用に向けて大切な時期を迎えることとなりますが、これまでの研修などをしっかり行い女性職員の意識向上に努めていただくとともに、男女かかわらず有能な人材がいかされる組織であってほしいと願います。

## 2 決裁事項

- (1) 公安委員会定例会議の会議録について  
総務室から、平成31年第6回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。
- (2) 苦情申出の受理について  
総務室から、公安委員会宛の苦情申出の受理について伺いがあり了承した。
- (3) 審査請求事案にかかる要望書の受理について  
総務室から、審査請求事案にかかる要望書の受理について伺いがあり了承した。
- (4) 愛媛県警察組織規則等の一部改正について  
警務部から、愛媛県警察組織規則等の一部を改正する規則について伺いがあり了承した。
- (5) 平成31年度の組織改正について  
警務部から、平成31年度の組織改正に伴う所属職員定数について伺いがあり了承した。
- (6) 交通規制の実施について  
交通部から、交通規制の実施について伺いがあり了承した。
- (7) 運転免許の行政処分について  
交通部から、運転免許の行政処分に係る事後取消処分について伺いがあり了承された。
- (8) 認知機能検査業務委託の契約について  
交通部から、認知機能検査の業務委託契約の変更について伺いがあり了承された。
- (9) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞について  
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果24件の行政処分を決定した。

## 3 報告事項

- (1) 定例県議会の開催結果について  
総務室長から、平成31年2月定例県議会の開催結果について報告があった。
- (2) 訪日外国人等の急増への取組状況について

警務部長から、訪日外国人の現状や取組施策等について報告があった。  
委員からは、

◇ 今後も訪日外国人の増加が予想されることから、多言語に対応できる取組を進めていただきたい。

との発言があった。

(3) サイバーセキュリティシンポジウムの開催について

生活安全部長から、「サイバーセキュリティシンポジウム道後2019」の開催にともなう県警の取組状況等について報告があった。

(4) 科学捜査研究所の活動概況について

刑事部長から、平成30年中の科学捜査研究所の活動概況について報告があった。

(5) 交通事故抑止システムの試験実施結果について

交通部長から、交通事故抑止システムの試験実施結果について報告があった。

委員からは、

◇ 事故発生状況が客観的に見えるようになり、効果的な活用を期待する。

との発言があった。

(6) 初任科生の卒業式等の実施について

警察学校長から、初任科第175期生の卒業式及び初任科第176期生・初任科第177期生の入校式の実施について報告があった。

(7) 苦情の受理及び処理状況について

総務室から、本年の苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(8) 術科部員及び白バイ特別訓練員の指名について

警務部から、平成31年度の警察術科部員及び白バイ特別訓練員の指名式の実施について報告があった。

#### 4 その他

(1) 3月8日付けで着任した情報通信部長から挨拶があった。

(2) 本部長から、「これから行われる統一地方選挙等の選挙取締りにしっかりと取組んでいきたい。」との発言があった。

(3) 委員から、「県警のけん銃射撃大会に出席したとき、メンタルの大切さを思った。女子テニスで世界ランク1位となった大坂なおみ選手は“イ

ンナーピース(内心の平和)”という言葉を使っていたが、精神的に落ち着いた状態でないと勝利は難しいということであると思う。

一方、浅田真央選手や吉田沙保里選手が引退の際“やり残した思いは無い”と心境を語っているが、塩野七生の「ギリシャ人の物語」に出てくる“パーチェ・コンセ・ステッソ(自分との平和)”という、自分のやれることは、自分の能力の範囲であるにしろ、全てやり遂げたという平穏な心境であったのだと思う。

県警にあっても職員一人一人が、インナーピースに留意して身体と精神の健康を保ち、それぞれの課題や目標に向けて、やれることは全てやり遂げたと“自分との平和”に達せられるように頑張ってもらいたい。」との発言があった。

以上